

事務事業	118	漱石公園のリニューアル				
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち				
大項目	04	うるおいのあるみどりのまちづくり				
施策	02	公園、広場などの整備充実				
<b>事業内容</b>						
目的	郷土の偉人「夏目漱石」の足跡を区内外へ情報発信する公園として、リニューアル整備を行ないます。あわせて、老朽化した石積み擁壁の改修を行います。					
対象・手段	漱石公園において、リニューアル整備を有識者や地元区民をはじめ、漱石に思い入れのある区民との協働により計画づくりから運営まで行います。					
<b>成果(事業が意図する成果)</b>						
漱石公園は、夏目漱石が執筆活動を行なった住居跡の一部であり、終焉の地でもあります。漱石の足跡を伝え、漱石を偲ぶことのできる文化度の高い公園にリニューアル整備し、本区を代表的する文化資産の一つとして高めます。						
<b>事業成果指標</b>						
指標名		定義			目標水準	
リニューアル整備		17年度	基本計画策定	30%	(平成19)	年度に
		18年度	実施設計策定	60%	(100%)	の水準達成
		19年度	整備工事	100%	( )	の水準達成
					( )	年度に
					( )	の水準達成
					( )	年度に
					( )	の水準達成
<b>成果の達成状況</b>						
	単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
事業 成果 指標	目標値1	%	0.00	0.00	30.00	60.00
	実績1	%	0.00	0.00	30.00	60.00
	= /	%	0.00	0.00	100.00	100.00
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00
<b>事業の実施内容</b>						
平成17年度	「漱石公園リニューアル住民参加型基本設計業務委託」により基本設計を作成しました。業者の選定にあたっては、プロポーザル方式により選定しました。					
平成18年度	前年度実施の基本設計の成果に基づき、実施設計を行いました。					

部名称		環境土木部			課名称		道とみどりの課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	0	0	5,440	8,177		
	人件費	千円	0	0	16,676	16,560		
	事務費	千円	0	0	94	0		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	0	0	22,210	24,737		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	0	0	22,210	24,737		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	0	22,210	24,737		
	特定財源		0	0	0	0		
	一般財源投入率 /	%	0.00	0.00	100.00	100.00		
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	2.00	2.00		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
<b>事業に関する検討課題</b>								
<p>公園敷地の一部は、終焉の地であると同時に、漱石門下の討論の場でもあり、後の日本文学界・文芸界を代表する人々が育った場所でもあります。こうしたこの土地の記憶を、多くの人々と共有するためには、リニューアル後の公園運営が欠かせません。しかしながら、公園運営に必要な機能や組織づくりは、従来の公園運営の概念だけでは、困難と思われれます。</p>								
評価基準に基づく評価と理由	達成度	3	住民・有識者による漱石に対する熱意を隈なく集約し、終焉の地の記憶を伝えることのできる詳細設計が完成しました。					
	効率性	3	3か年にわたる本実施計画は、漱石終焉の地であるこの土地の記憶を、漱石に思い入れを持つ多くの参画者との議論や有識者の助言に基づき、慎重に議論することが欠かせないと考えます。					
	実施の成果	3	漱石を偲ぶことや足跡を伝えるに乏しい現状の公園において、参加者の発意から整備後の情報発信や活動拠点として整備されることは、大きな成果と考えています。					
	行政の関与	2	整備後の運営面においては、基本設計の参画者による積極的な活動を支援するとともに、多くの人々の協力を得ながら整備・運営を区と協働で行います。					
	妥当性	3	住民や有識者による意見と漱石に対する熱意を集約しました。その結果、漱石の足跡や、終焉の地の記憶を伝えることのできる公園に整備する詳細設計が完成しました。					
	施策寄与度	2	公園整備の一環として開始した本事業は、文化施策としての事業展開を図ることができました。					
総合評価	<p>漱石公園は従来の公園とは異なり、文化資産の側面からの検討が欠かせません。平成17年度は、有識者をはじめ多くの漱石に思い入れのある区民からの意見や要望を得て、郷土の偉人「夏目漱石」の足跡を区内外へ発信できるプランの骨格ができました。この基本方針を基に実施設計を作成しました。また、リニューアル後の公園においては、足跡を伝えるための情報発信が欠かせません。19年度は、公園の整備に加え、運営方法について、引き続き参画された区民の提案や有識者の助言を得ながら、検討を図りたいと考えています。</p>						B	
							過年度評価	17年度 A 16年度 15年度 14年度
改革方針	<p>多くの名作が執筆され、文学界や文芸界を代表する人々を生んだこの土地の記憶は、文化資産として区が全国へ誇れるものです。この文化資産を多くの人々と共有するためには、本物志向による公園運営が欠かせません。そのためには、この地と漱石の関わりや漱石の足跡を区内外の来園者に伝えるための運営や情報発信の活動拠点として、関係部署との連携をはじめ、参加区民や有識者の助言や全国の漱石関係者の協力を得ながら、運営方法について検討します。</p>						4	
							拡大	